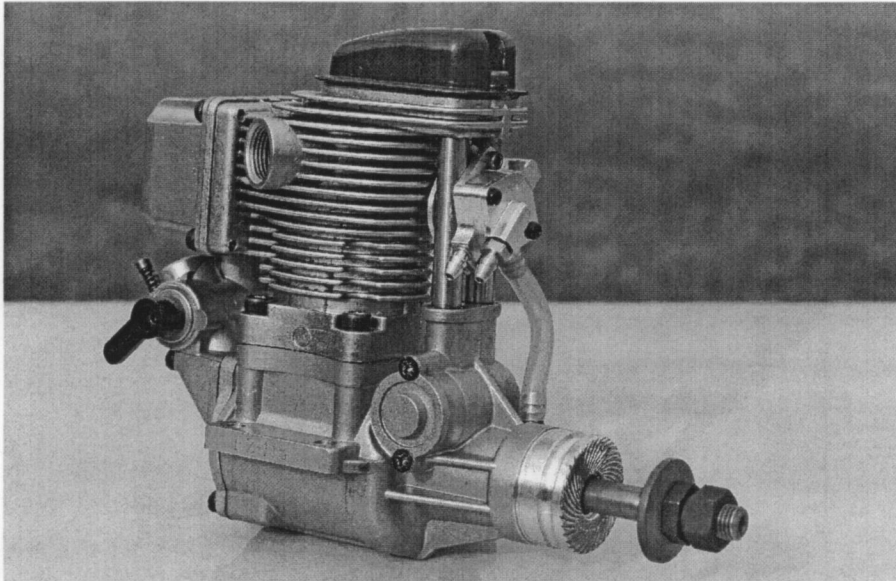


●現在、開発が進んでいる「FZ-115」エンジン。



燃料が来にくくなります。そのため、早くふかすと燃料が足りない状態になってノッキングしますので、音を聞きながらゆっくり回転を上げてください。

Q. プラグヒートを外すと止まる。

A. 特に気温が低いとき以外は、プラグの不良が一番多いです。今まで良くて急になった場合、ほとんどこれです。また、何かの原因でクランクケースに燃料が入りすぎている。スロー調整が極端に濃くなっている、などの原因でも同じ症状が出ます。

Q. タペット調整の注意点は。

A. タペットを調整するとき「隙間ゲージ」を使わなくても調整できます。エンジンが冷えた状態で、隙間は「0」に近い状態でいいです。上下に隙間がなくても横に動けばOKです。圧縮があれば（突き上げているときは圧縮がない）調整完了です。

Q. 上昇中に回転が下がってしまいます。

A. メインニードルの調整が狂ってませんか？ 絞りすぎても甘す

ぎでも回転が下がります。また、プロペラのロードが多すぎても回転は下がります。ロードの少ないプロペラに変えてみてください。冷却が悪く、オーバーヒートしたときも同じ症状になります。

Q. スローとハイはいいのですが、中速で濃くなって止まっています。

A. この時は「逆止弁」を疑ってください。口で吹いて止まっても、新品と交換して試してください。クランク圧とタンク圧の差がある時はいいのですが、逆支弁の止まり方にタイムラグがあると、中速域で「クランク圧とタンク圧が均衡」したときに逆支弁が開き続けた状態になり、そうなると圧力が逆流する場合があります。濃くなって止まってしまう。

Q. 気温が高いときに2～5分フライトするとパワーがなくなり、最悪は止まってしまう。

A. エンジンがオーバーヒートしています。特にキャブがパーコレーションを起こし、燃料が通りにくくなっているのでしょうか。

カウリングとエンジン本体との隙間にスポンジなどを貼り、ヘッドの隙間を詰めて空気の通路を狭くし、空気の流速を早くしてください。この時、スポンジがエンジン本体に触るくらいにすると良いですよ。

Q. YSエンジンを快調に使うために、メンテナンスはどうしたらいいですか。

A. 新品のエンジンを初めて使うときは、ニードルを甘めにして地上で1タンクぐらい慣らしをして下さい。そのとき、最後に必ずスロー調整をして下さい。各社からいろんな燃料が発売されていますが、燃料によってはメインニードルやスローの濃さが変わることを頭の中に入れて置いてください。数フライトしたら、エンジンに当たりがつくとスローの位置が変わる可能性がありますので、スローの確認は毎回するように心掛けるとよいでしょう。10フライトぐらいしたらタペットの調整をしてください。あとは100フライト毎にタペットの点検調整をしてください。プラグはちょっとでもおかしいと思ったら早めに交換してください。フライト後、どこか燃料が漏れてベタベタになってないか確認する習慣をつけていると、トラブルを早く発見できます。

Q. しばらく使わないときの保管方法は。

A. 1～2ヶ月以内に飛ばすのであれば、何もしなくても大丈夫だと思います。心配な方は、クロットオイル、IMストックオイル、東邦さび止めオイルなどを注入しておいてください。決してCRC類のさび止めは使わないことです。